



ホットニュース Hot News

◎第6回 たはら言の葉コンクールがはじまります

身近な生活の中で感じたことや、心温まるエピソードなどを、作文・詩・俳句・短歌・川柳で表現してみませんか？

応募作品の中から、大賞・優秀賞を決定します。先着30名様には、参加賞をプレゼント！作品の複数応募の場合は、1名につき1つ中央図書館でお渡しします。皆様のご応募をお待ちしています。



対象:どなたでも/1人5作まで応募可。(未発表のものに限ります)

募集期間:11月15日(土)～12月27日(土)消印有効

応募方法:中央図書館へ直接、郵送、LoGoフォームにて

※詳細は、館内ポスターまたはQRコードをご確認ください。



問い合わせ:中央図書館 23-4946 ▲申込はこちら

オスナの本



『ネット情報におぼれない学び方』

梅澤貴典/著 岩波書店

そのネットの情報は正しいですか？確かな情報源を探す方法を情報教育の専門家が子どもにも分かりやすく伝えています。



『ベランダでわたをつくったよ』

あおきあさみ/作 福音館書店

綿花は春に種をまいて、秋には実をつけます。その実がはじけると、白い綿がとれます。植木鉢でも育てられるそうですよ。

History Inquiry Club 其の254 歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720
吉胡貝塚資料館 ☎22-8060
渥美郷土資料館 ☎33-1127



博物館HP



博物館Instagram

渥美半島にあまりゆかりがない戦争の慰霊碑の話

渥美半島には、戦争で亡くなった方を慰霊する石碑が各地にあります。今回は、地元とは直接のゆかりが薄い慰霊碑をご紹介します。

伊良湖の恋路ヶ浜駐車場から歩いて岬の灯台へ向かうと、すぐ山側に石碑が見えてきます。こちらは「全国海洋戦没者伊良湖慰霊碑」といい、太平洋戦争のため海で亡くなった全ての方への慰霊碑です。日本海軍最後の連合艦隊司令長官であった小沢治三郎(1886～1966)の逝去に際し、昭和天皇から下賜された祭祀料を基金とし、さらに全国から寄付を募って1972(昭和47)年に建立されました。かつては、毎年多くの元軍人や遺族が参列し、盛大な慰霊祭が行われていたそうです。

また、蔵王山の中腹には「工兵二十六



▲全国海洋戦没者伊良湖慰霊碑

観音」と呼ばれる観音様の石像と石碑があります。フィリピン・レイテ島で壊滅した陸軍の工兵第二十六連隊の戦没した方々を慰霊するために造られました。同連隊も東京で編成され、フィリピン派遣以前は中国を転戦していたため、渥美半島と縁が深いわけではありません。



▲工兵二十六観音

これらの慰霊碑が渥美半島に建てられたのは、南方の島々や海で亡くなった戦没者の霊を、現地に行けないまでも、せめて戦没の地につながる外洋を望む場所で慰めたいという思いがあったからなのでしょう。

現在は関係者による慰霊祭は既に休止し、地元の方々が引き継いで供養を続けています。戦後80年の時の経過を感じさせる光景です。

(学芸員 木村洋介)